様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和8年6月17日

茨城県知事
大井川　和彦　殿

提出者
住　所　茨城県水戸市千波町1905番地
氏　名　昭和建設株式会社
代表取締役社長　仁田原　一義

電話番号　029-241-2161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	昭和建設株式会社(水戸市内各工事現場)
事業場の所在地	水戸市内各所
事業場の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和　7年　4月　1日　～　令和　8年　3月　31日まで

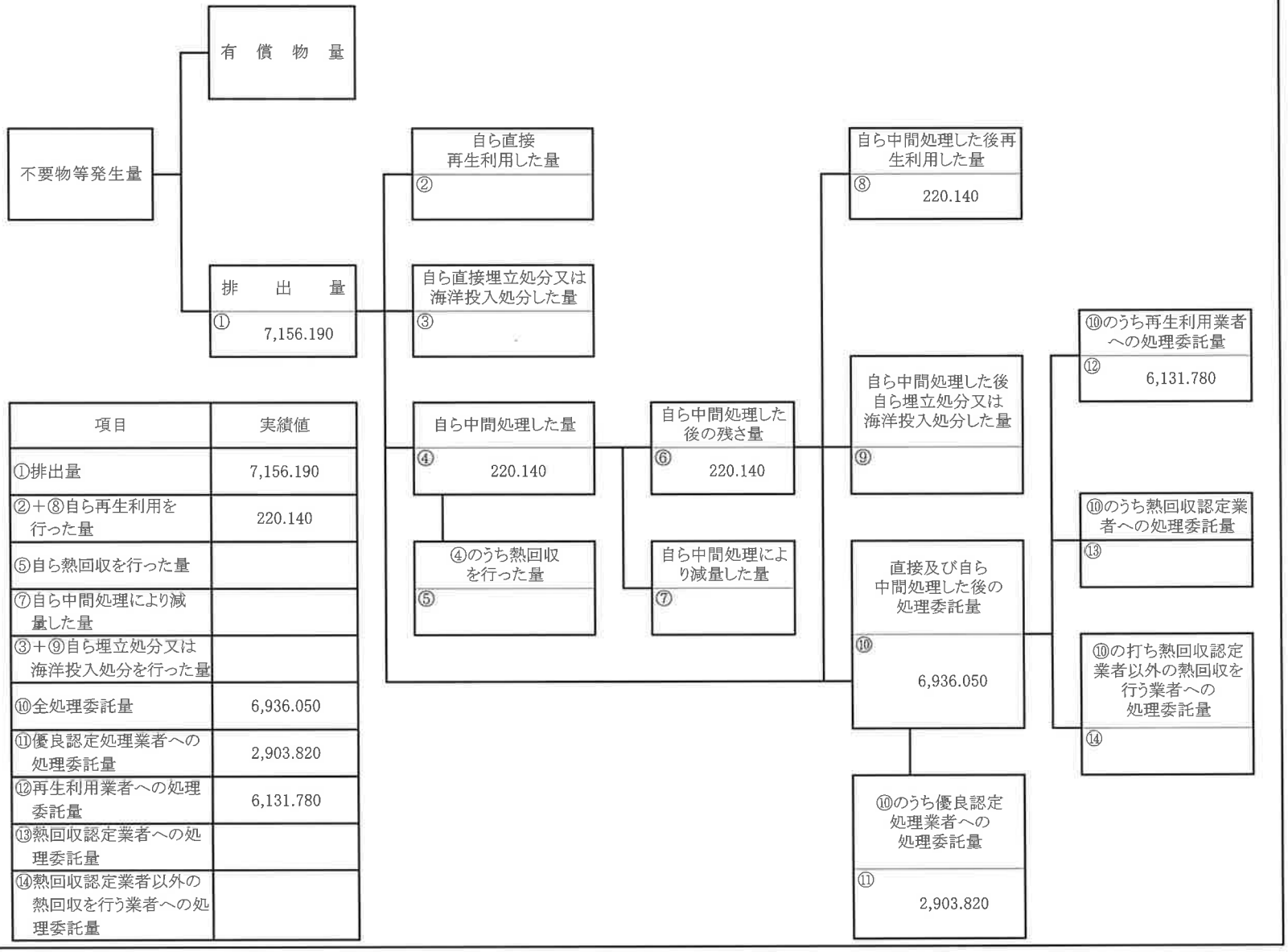
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	7,257.5　t	全処理委託量	7,207.5　t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2,651.5　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	180　t	熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

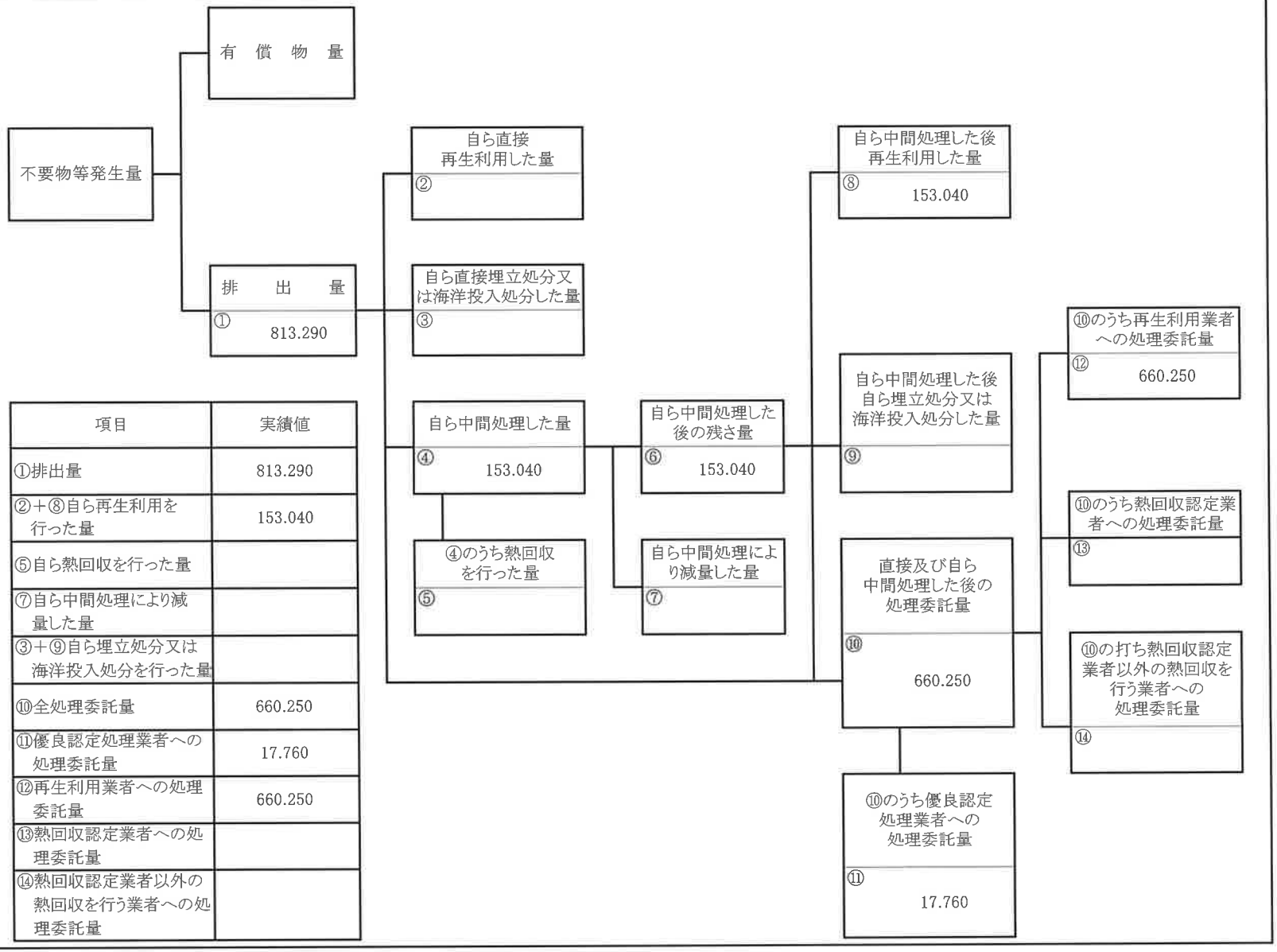
（産業廃棄物の種類：　全廃棄物の合計　）



項目	実績値
①排出量	7,156.190
②＋⑧自ら再生利用を行った量	220.140
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	6,936.050
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2,903.820
⑫再生利用業者への処理委託量	6,131.780
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類　アスファルト塊　）

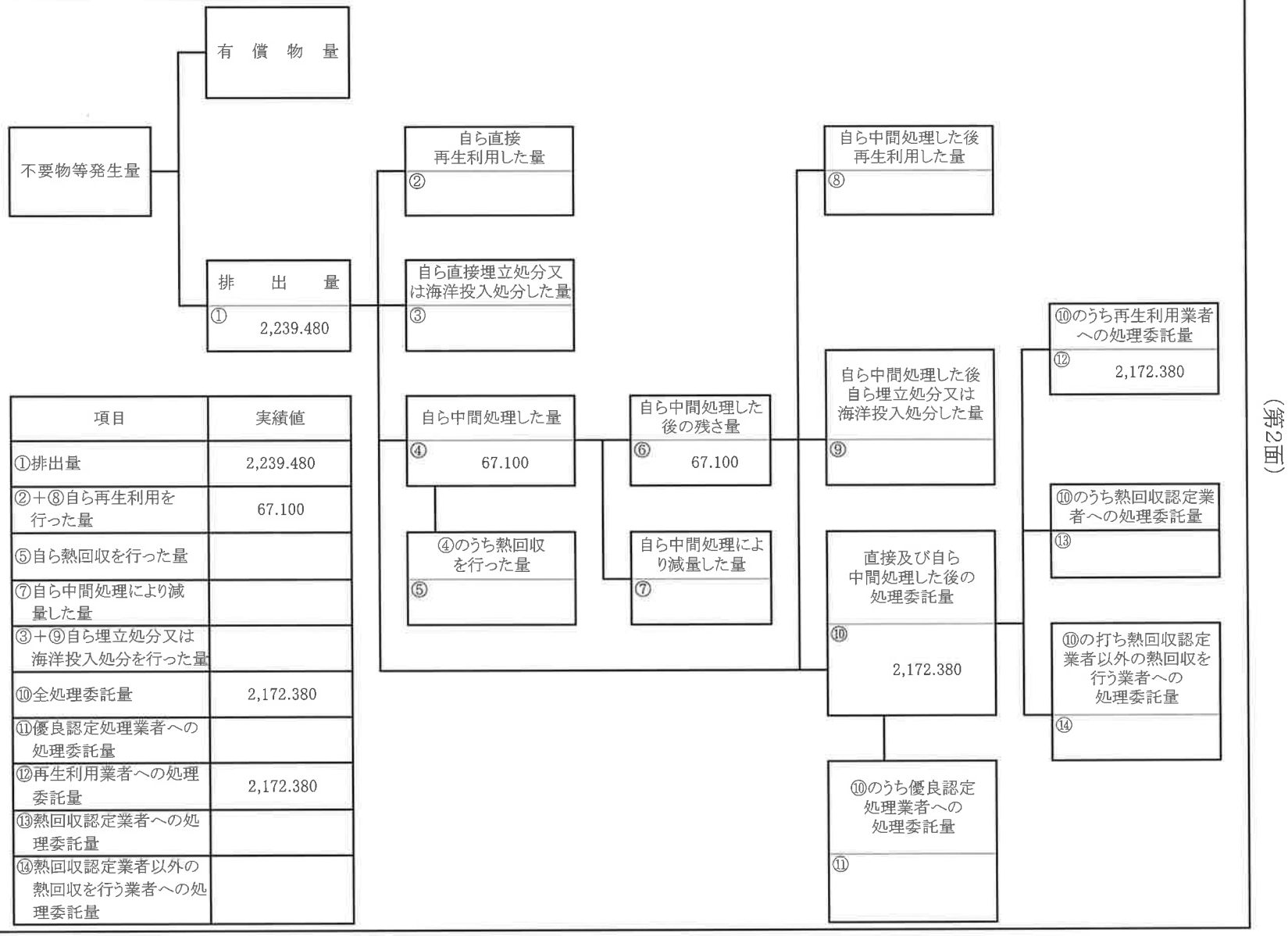


項目	実績値
①排出量	813.290
②＋⑧自ら再生利用を行った量	153.040
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	660.250
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.760
⑫再生利用業者への処理委託量	660.250
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第2面）

計画の実施状況

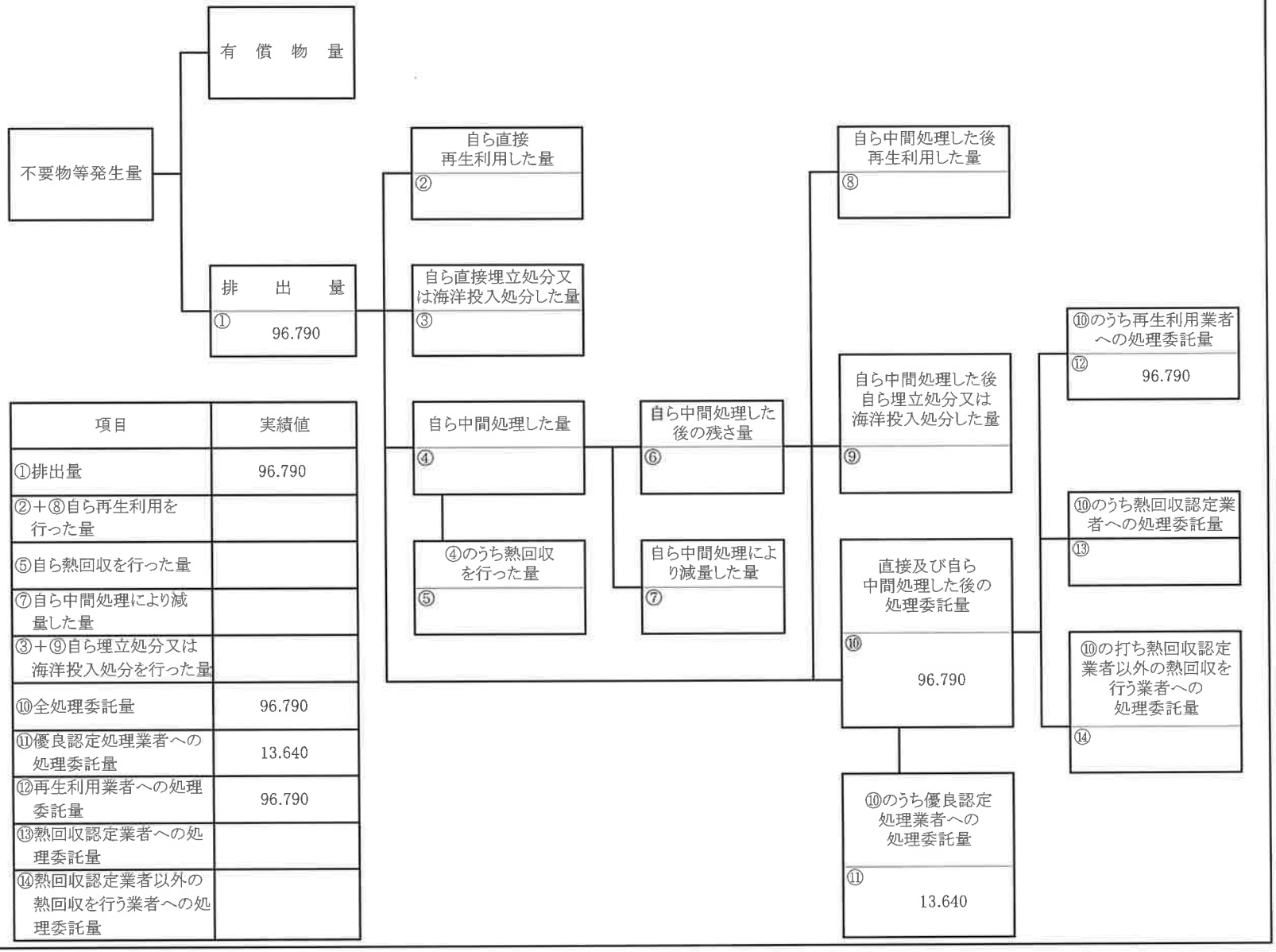
（産業廃棄物の種類　　コンクリート塊　　）



項目	実績値
①排出量	2,239.480
②＋⑧自ら再生利用を行った量	67.100
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	2,172.380
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	2,172.380
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第2面）

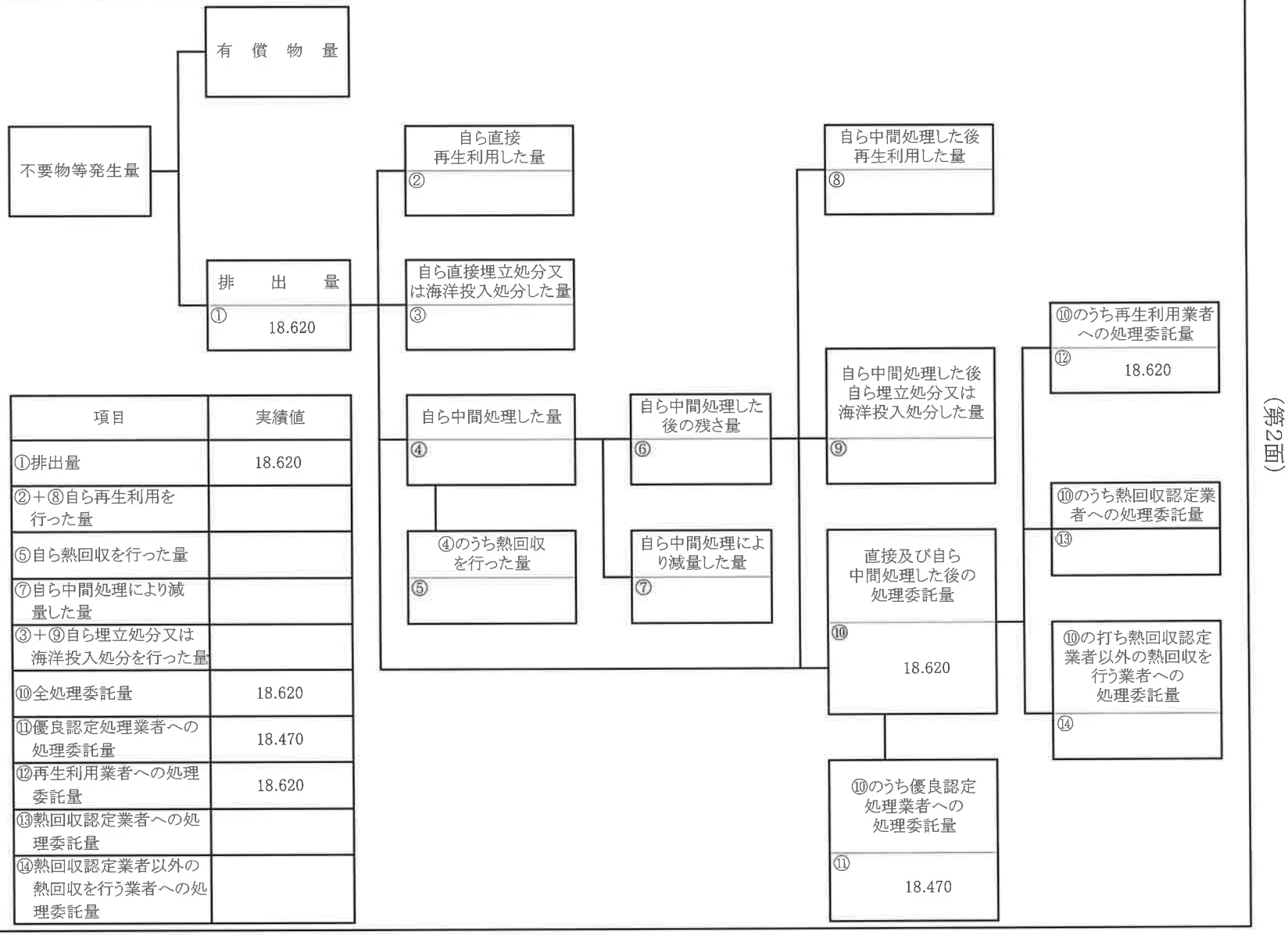
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類　　がれき類　　）



項目	実績値
①排出量	96.790
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	96.790
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.640
⑫再生利用業者への処理委託量	96.790
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類　ガラス・陶器くず　）

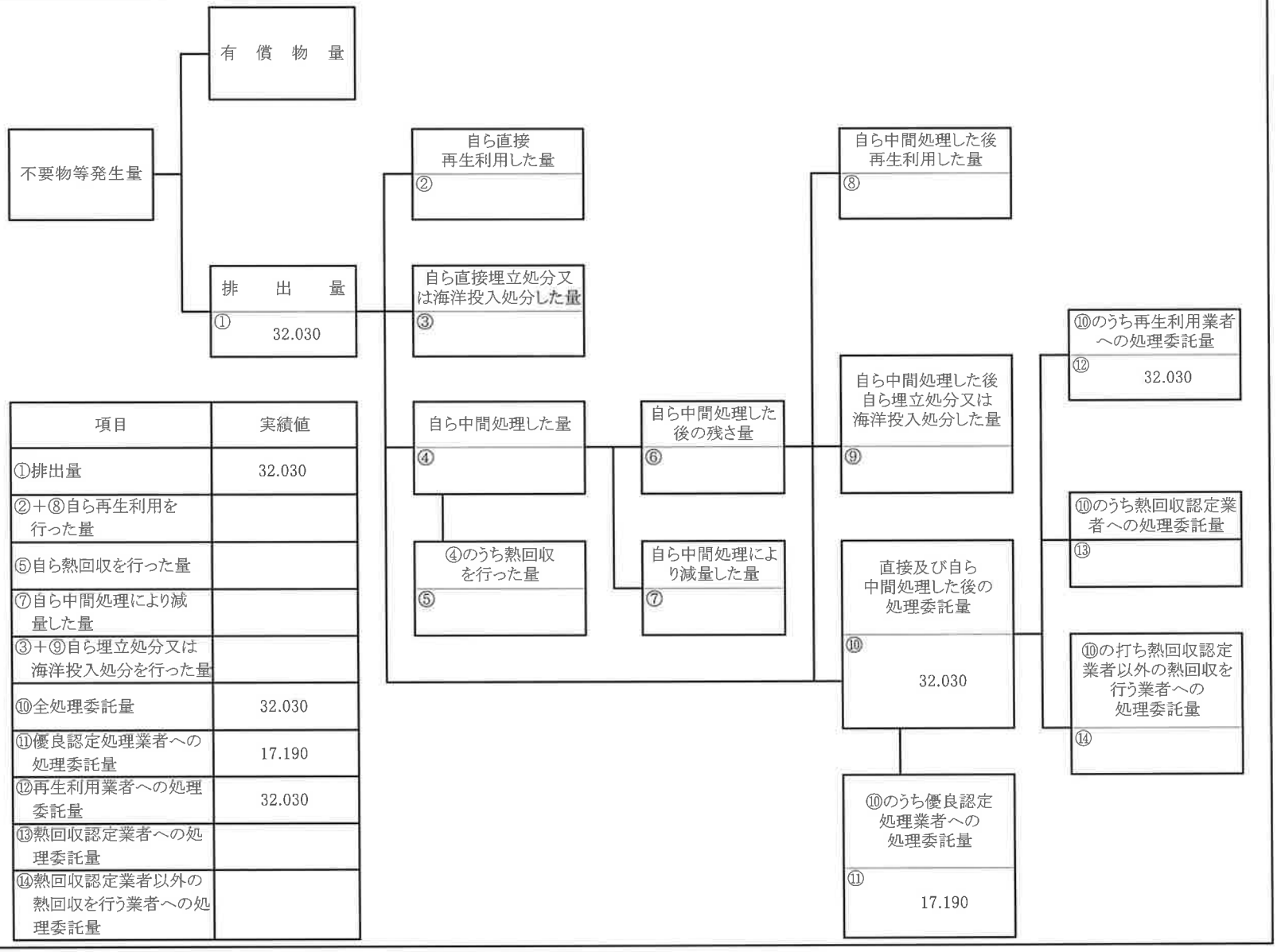


項目	実績値
①排出量	18.620
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	18.620
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.470
⑫再生利用業者への処理委託量	18.620
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類　　廃プラスチック類　　）

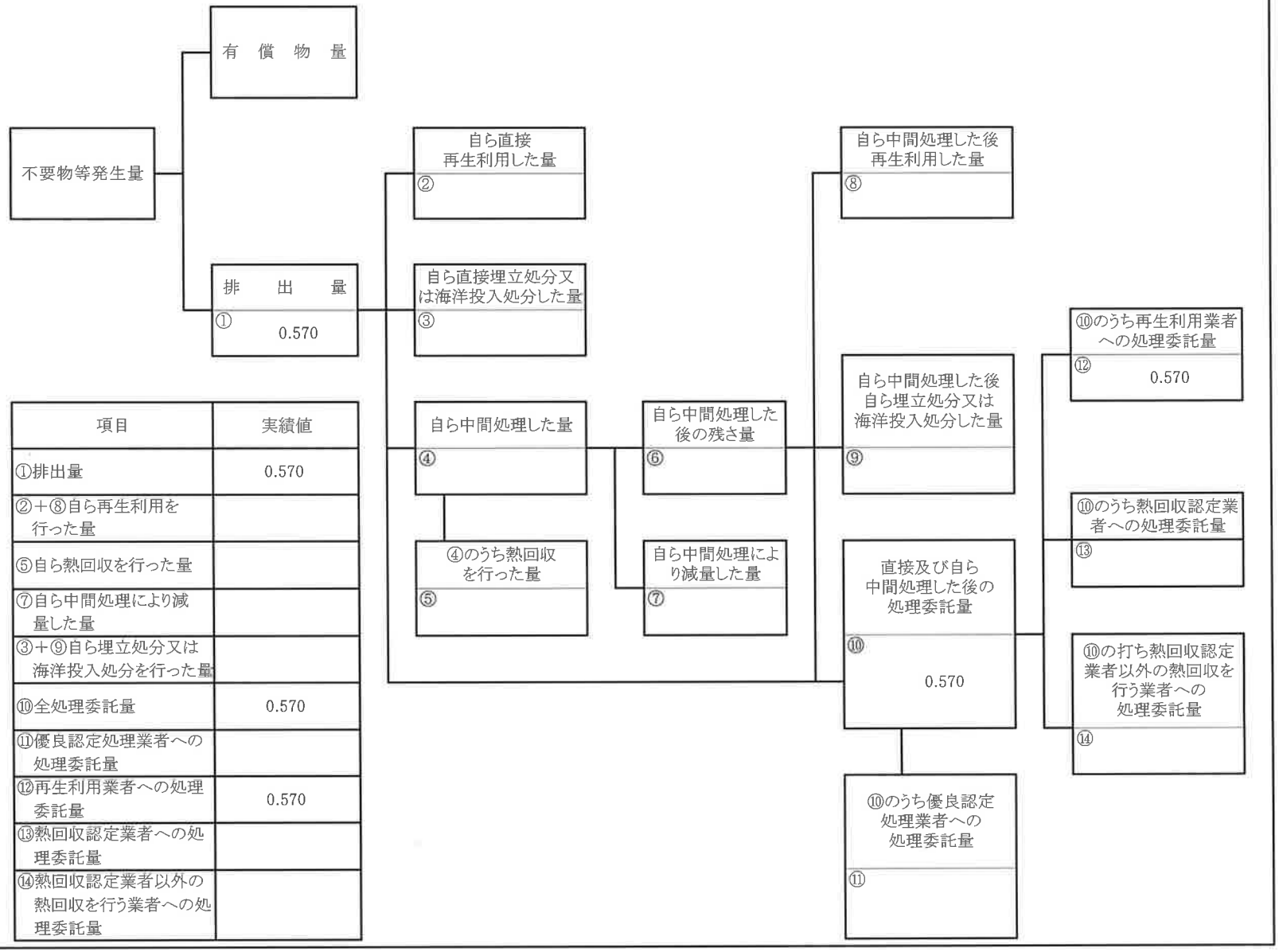


項目	実績値
①排出量	32.030
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	32.030
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.190
⑫再生利用業者への処理委託量	32.030
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第2面）

計画の実施状況

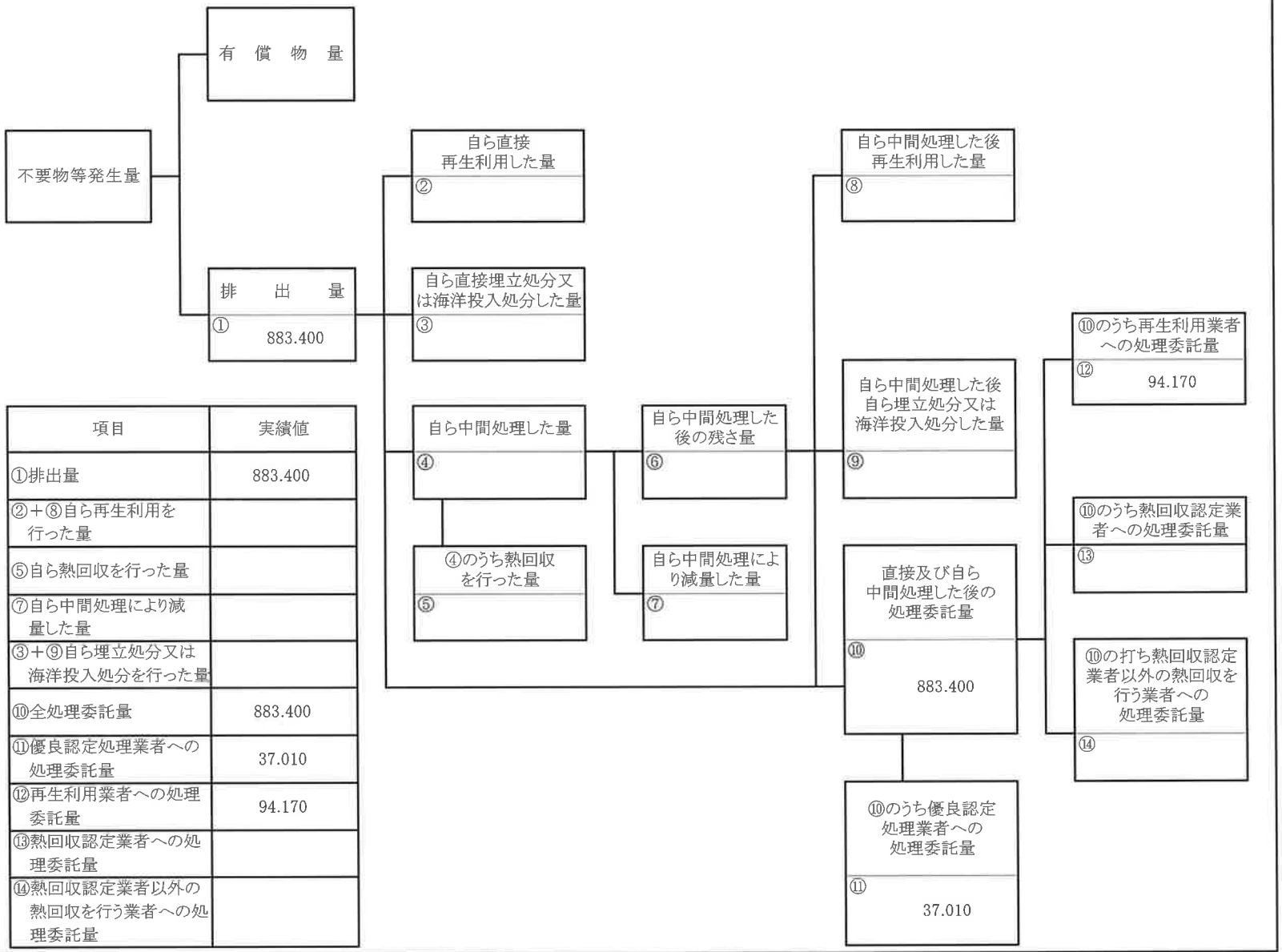
（産業廃棄物の種類　　金属くず　　）



項目	実績値
①排出量	0.570
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	0.570
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.570
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類　　混合　　）

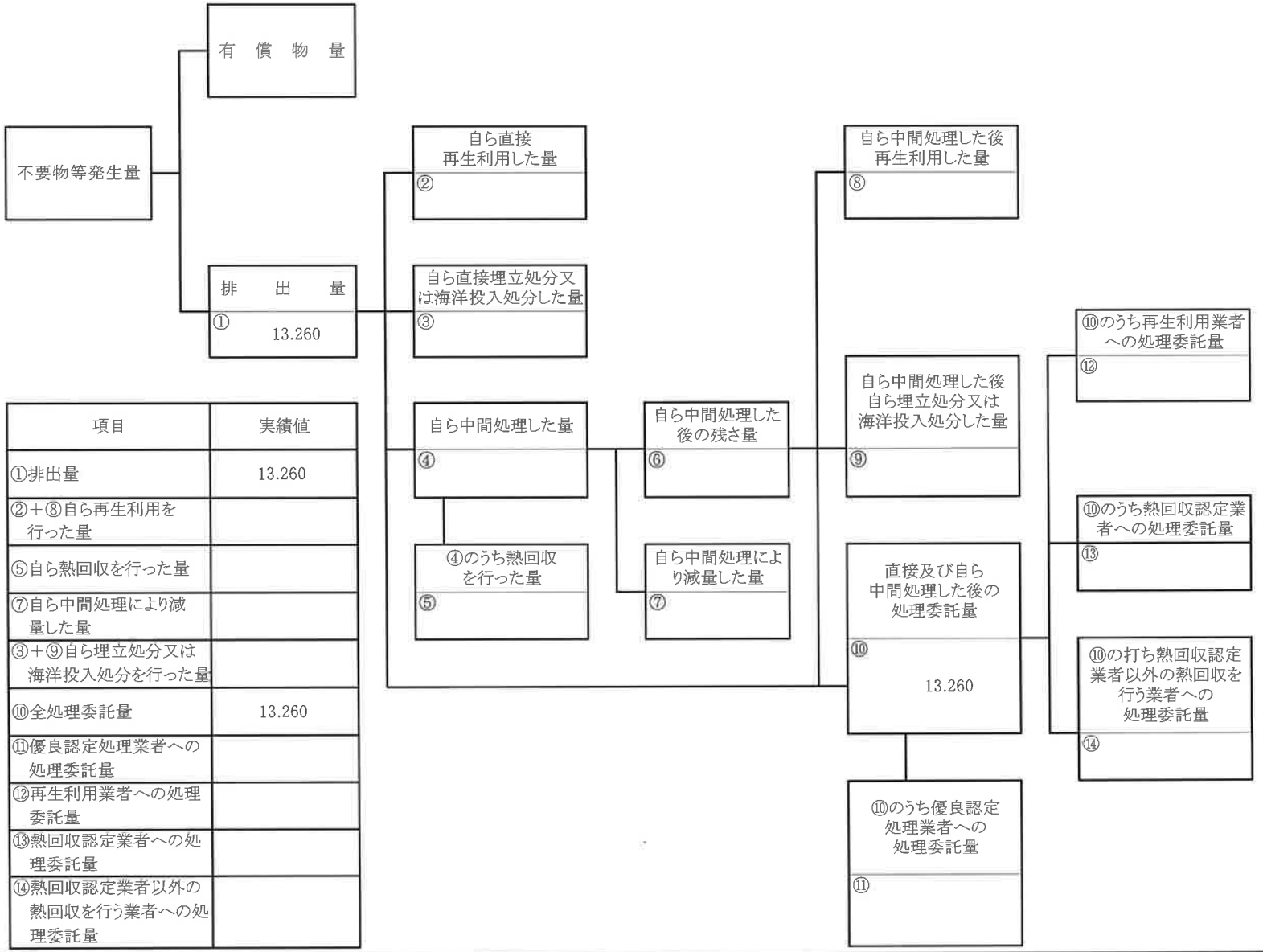


項目	実績値
①排出量	883.400
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	883.400
⑪優良認定処理業者への処理委託量	37.010
⑫再生利用業者への処理委託量	94.170
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第2面）

計画の実施状況

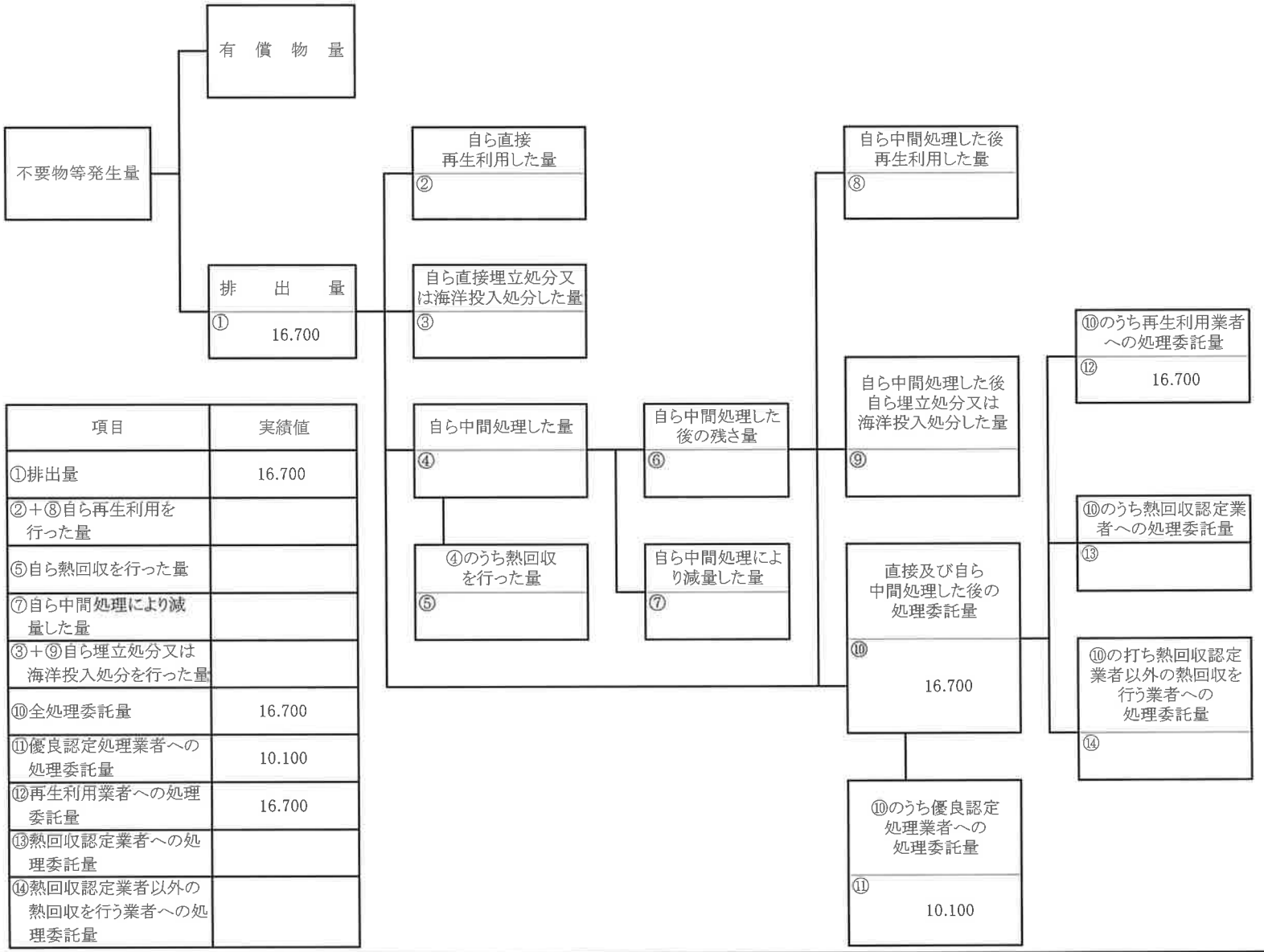
（産業廃棄物の種類　　石綿含有産業廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	13.260
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	13.260
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第2面）

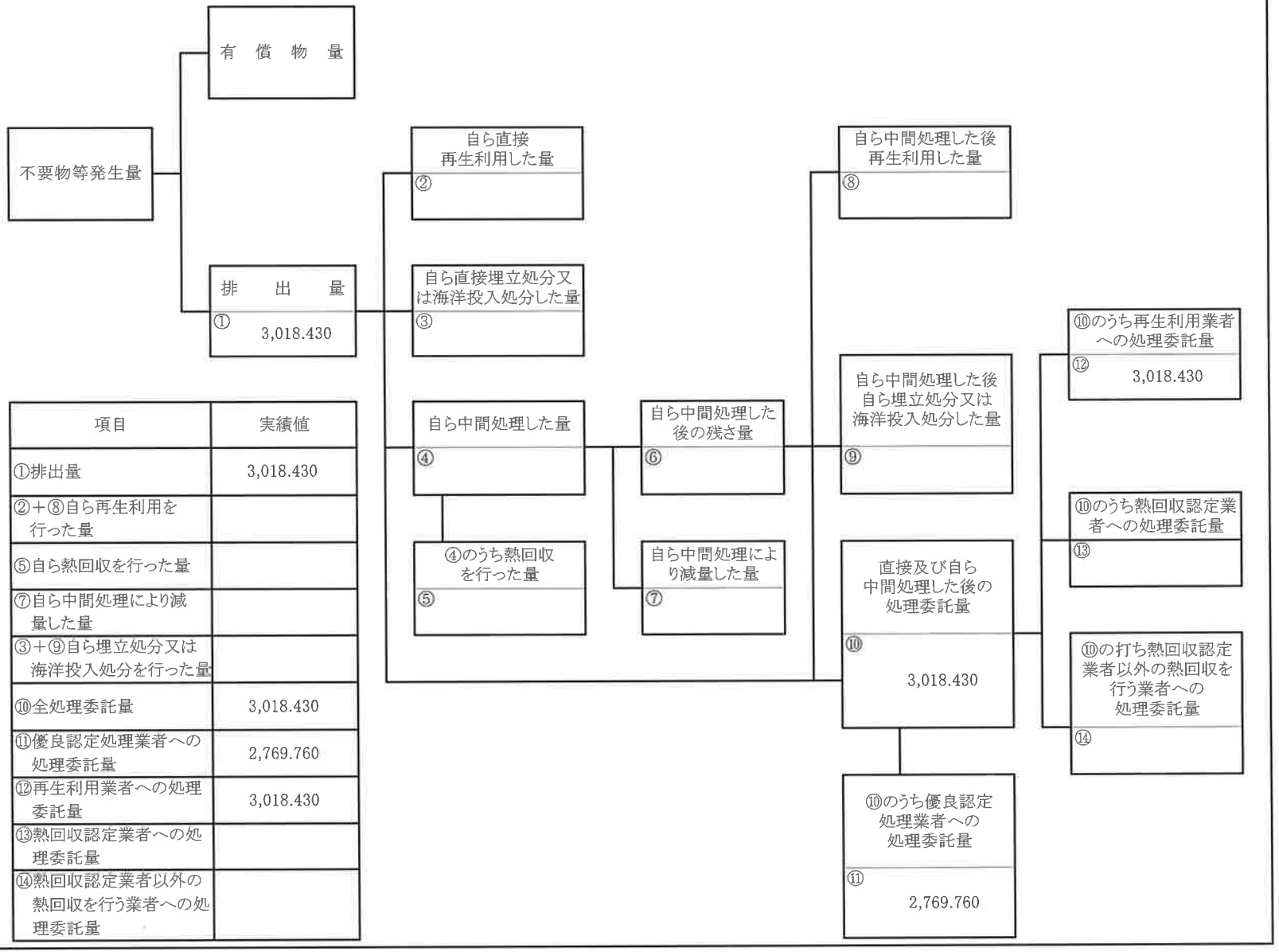
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類　建設汚泥　）



項目	実績値
①排出量	16.700
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	16.700
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.100
⑫再生利用業者への処理委託量	16.700
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類　木くず　）

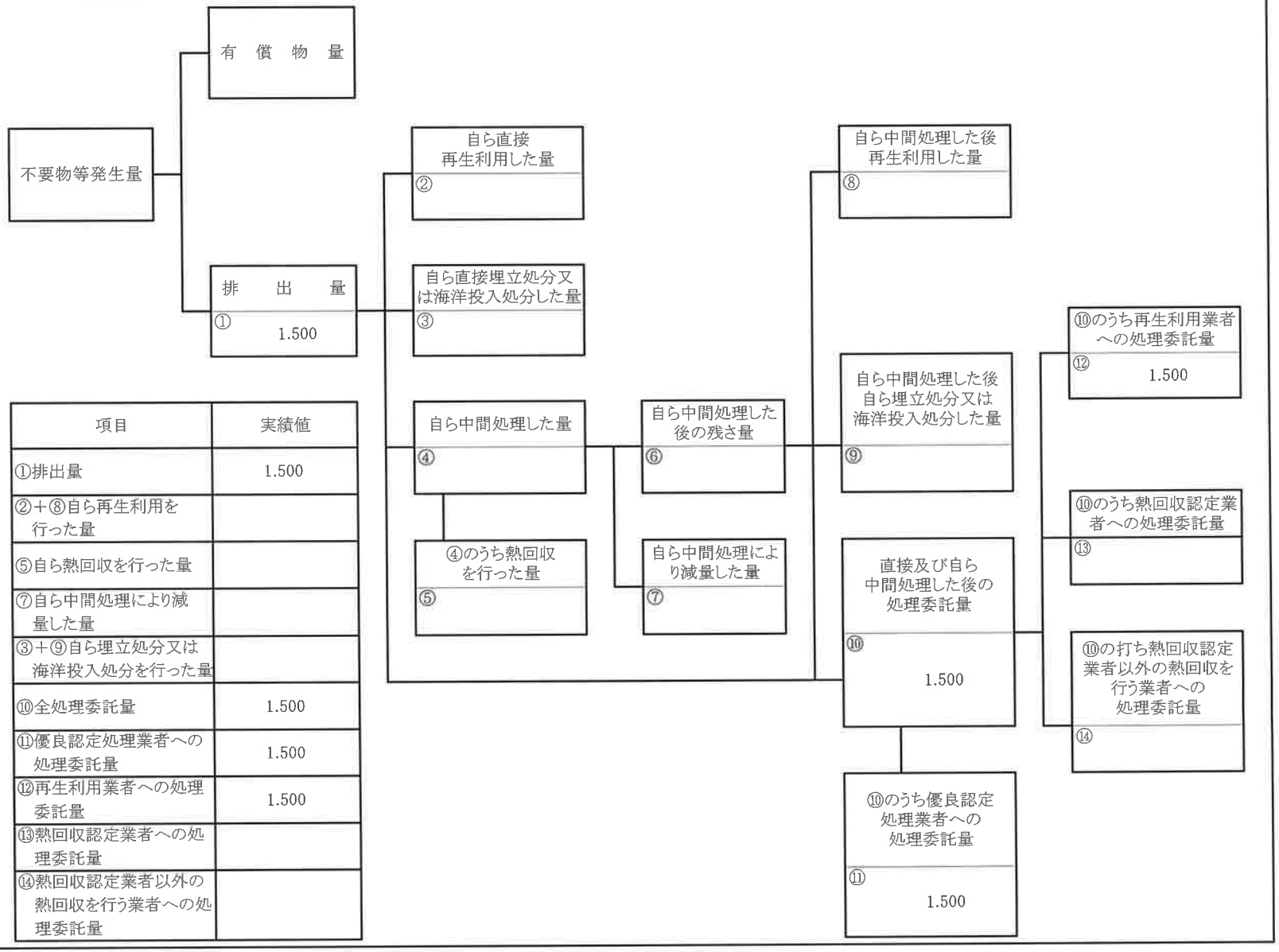


項目	実績値
①排出量	3,018.430
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	3,018.430
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2,769.760
⑫再生利用業者への処理委託量	3,018.430
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第2面）

計画の実施状況

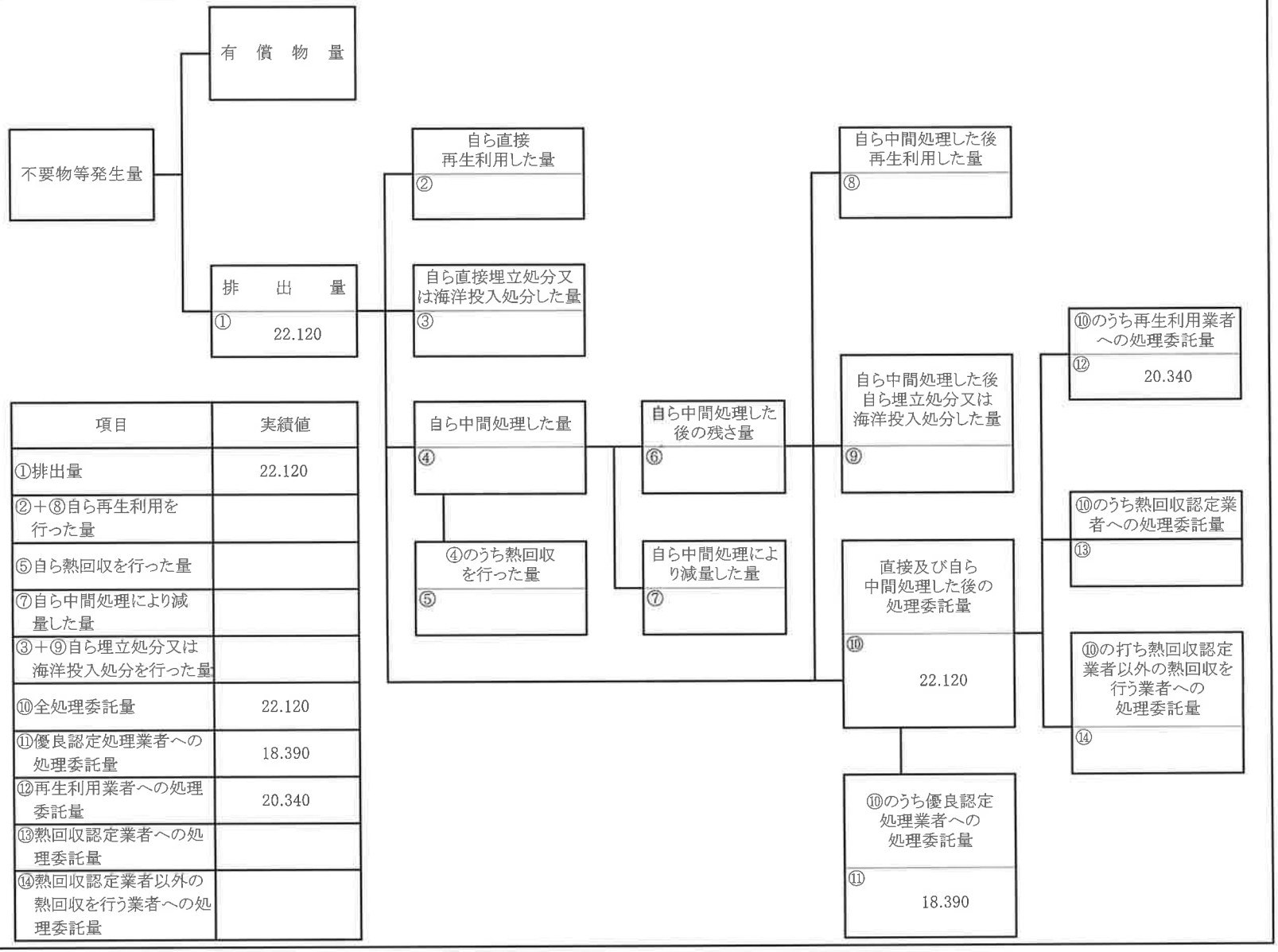
（産業廃棄物の種類　　紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	1.500
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	1.500
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.500
⑫再生利用業者への処理委託量	1.500
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類　廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ　）



項目	実績値
①排出量	22.120
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	22.120
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.390
⑫再生利用業者への処理委託量	20.340
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者へ焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。